



HOKKAIDO
UNIVERSITY

講義「人工知能」 第9回 AI関連ニュース

北海道大学大学院情報科学研究院
情報理工学部門 複合情報工学分野
調和系工学研究室 准教授 山下倫央

<http://harmo-lab.jp>
tomohisa@ist.hokudai.ac.jp

2024年5月7日(火)

❖ 地方紙のサイトが“生成コンテンツ”を大量発信、AIを用いた「クリックベイト工場」の秘密

- <https://wired.jp/article/iowa-newspaper-website-ai-generated-clickbait-factory/>

- 2024年3月7日 WIRED

- 米国のある地方紙のウェブサイトが、なぜか質が低い金融コンテンツを大量に垂れ流している——。
- この謎に迫る取り組みから浮かび上がってきたのは、「クリックベイト（釣り記事）」をAIが生成するポーランドを中心としたネットワークの存在だった。

❖ クリックベイトとは？

- <https://ideasforgood.jp/glossary/clickbait/#:~:text=%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%83%96%E4%B8%8A%E3%81%AE%E5%BA%83%E5%91%8A%E3%82%84,%E3%80%8C%E9%87%A3%E3%82%8A%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%83%88%E3%83%AB%E3%80%8D%E3%81%A8%E3%82%82%E5%91%BC%E3%81%B0%E3%82%8C%E3%82%8B%E3%80%82>
- IDEAS FOR GOOD
- ウェブ上の広告や記事などに、ユーザーの興味を引いて閲覧者数を増やすため、煽情的なタイトルをつけること。ここで言う「ベイト」とは英語で「餌」を意味し、タイトルがユーザーのクリックを誘導する餌になっていることから名づけられている。日本語では「釣りタイトル」とも呼ばれる。
- フェイクニュースのような完全な嘘ではないものの、タイトルと中身の関連性が乏しかったり、期待していた内容と違う中身のない記事だったりするため、結果的にユーザーの信頼を損ねる悪質な手法として知られている。

❖ “不法占拠”したニュースサイトを生成AIの記事で埋め尽くす：「クリックベイト工場」で荒稼ぎするセルビア人の告白

- <https://wired.jp/article/confessions-of-an-ai-clickbait-kingpin/>

- 2024年3月7日 WIRED

- かつて人気だったニュースサイトなどをドメインスクワッティング（ドメインの不法占拠）によって入手し、生成AIで量産したクリックベイト（釣り記事）で埋め尽くす――。そんなビジネスで荒稼ぎするセルビア人の男を駆り立てる動機は何なのか、本人が激白した。

❖ サイバースクワッティング (Cybersquatting) あるいはドメインスクワッティ

■ <https://www.sompocybersecurity.com/column/glossary/cybersquatting#:~:text=%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%82%AF%E3%83%AF%E3%83%83%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%B3%E3%82%B0%EF%BC%88Cybersquatting,%E3%81%99%E3%82%8B%E8%A1%8C%E7%82%BA%E3%82%92%E6%8C%87%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>

■ SOMPO CYBER SECURITY

- サイバースクワッティング (Cybersquatting) あるいはドメインスクワッティング (Domain Squatting) は、著名な企業や組織、人物などの名称や商標を持つドメインを第三者が登録し、そのブランドやレピュテーションを悪用する行為を指します。
- 空き家や廃屋を不法占拠するスクワッティング (Squatting) という行為にちなんで名づけられた行為です。
- サイバースクワッティングは、著名な商標を利用した営利活動や、高額でのドメイン売却交渉、あるいはフィッシング攻撃のための偽サイトといった不正な活動に用いられます。
- 国内においても、有名メーカーの商標を用いたドメインが大量に登録されるなどの行為が確認されていきます。サイバースクワッティングを放置することは、自社ブランドを騙ったサイバー犯罪の誘発や、レピュテーションの低下を招くリスクを発生させます。

❖ 医療現場でも生成 A I 活用、「診断」にばらつき ...日本人のデータもっと学ばせる必要あり

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/d4d79c35edeca181ee76a21355379d29f6d0537f>

- 2024年5月4日 読賣新聞オンライン

- [生成 A I 考] 第 2 部 悩める現場 < 4 >

- 頭痛患者らが訪れる東京都内のクリニック。野村竜太郎医師は診察前、生成 A I（人工知能）が作った要約文に目を通す。基になるのは患者が事前にスマートフォンで入力した情報だ。

- 頭痛の原因は様々だ。どのタイプか見極めるには、痛みの特徴や症状の経過など確かめる点が多い。「必要な情報を瞬時にまとめてくれる。的を絞った質問ができ、診察がスムーズ」と便利さを語る。

❖ 医療現場でも生成 A I 活用、「診断」にばらつき ...日本人のデータもっと学ばせる必要あり

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/d4d79c35edeca181ee76a21355379d29f6d0537f>
- 2024年5月4日 読賣新聞オンライン
- 東京医科歯科大のチームは昨年 9 月に報告した研究で、解答の不安定さを指摘した。症状から何の病気かをチャット G P T 無料版に尋ねると、同じ質問文でも入力した日などによって答えはばらついた。
- 多様な症状が出る「頸髄（けいずい）症」が正解の質問文では「末梢（まっしょう）神経障害」「多発性硬化症」など様々な病名を示し、正答と判定されたのは 2 5 回中 1 回（4 %）だった。

❖ 画像診断など"医療AI"普及も慶應医学部教授が懸念「診断データベース蓄積する外国企業の支配下入り」の恐怖

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/973b1860766ca5b17c2daa02e80d21612222ce5d>

- 2024年4月27日 PRESIDENT ONLINE

- 医療を助けるAIディープラーニング

- 生成AIが、世界を変えています。医療でも間違いなく変化を起こしていきませんが、最前線で本格的に実装されるのは、しばらく後のことになります。

- 医療で使われる技術というのは、患者さんの命にかかわることですので、安全性の検証がすごく大事。それが人々の体にどういう影響を与えるのかという検証を踏まえて、実装されていくんですね。

❖ 画像診断など"医療AI"普及も慶應医学部教授が懸念 「診断データベース蓄積する外国企業の支配下入り」の恐怖

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/973b1860766ca5b17c2daa02e80d21612222ce5d>

- 2024年4月27日 PRESIDENT ONLINE

- ただ生成AIはものすごいスピードで改善しているわけですよ。ね。チャットGPTでも、前は嘘か本当か検証できなかったけれども、今は使い方を工夫すれば何を根拠にそういう言葉を作ったのか、引用元を提示させることができます。そういう正確性を担保した判断というところが、これから間違いなく発展していきます。

- 今すぐではないにせよ、いずれ生成AIが問診をサポートする、さらには代替していくようなフェイズに必ず入っていくと思います。そうなりますと、一人一人の医師の臨床能力がバラついている部分を、しっかりサポートしていくことが可能になる局面がやってくるでしょう。